

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月14日

上場会社名 日本エコシステム株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 9249 URL <https://www.jp-eco.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 穰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 稲生篤彦 (TEL) 0586 - 64 - 9249
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 2024年5月29日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	4,236	15.9	368	△20.4	373	△21.3	206	△66.9
2023年9月期第2四半期	3,655	1.0	462	△2.6	474	△7.8	624	120.8

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 215百万円(△66.8%) 2023年9月期第2四半期 649百万円(140.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	75.44	73.95
2023年9月期第2四半期	231.68	228.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	9,463	5,107	53.3
2023年9月期	8,373	4,538	53.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 5,040百万円 2023年9月期 4,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	25.00	—	26.00	51.00
2024年9月期	—	26.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	9,133	20.5	806	26.8	839	22.5	552	△36.8	204.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期2Q	2,863,400株	2023年9月期	2,697,600株
2024年9月期2Q	—株	2023年9月期	—株
2024年9月期2Q	2,739,451株	2023年9月期2Q	2,695,479株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
(1株当たり情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結業績は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善するもとの、各種政策の効果もあり緩やかな景気回復傾向にある一方で、円安に起因する物価上昇や中国経済の不確実性等、海外経済の下振れによる我が国の景気を下押しする影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「交通インフラ事業」にて収益基盤を構築、事業の裾野を拡大し、「公共サービス事業」で公営競技及びファシリティを中心とした事業規模の拡大を図り、これらの技術、収益を基盤にして「環境事業」を推進するべく取り組んでまいりました。

また、当社グループ成長戦略としてM&A・人材強化等の成長投資を前連結会計年度に引き続き積極的に行った結果、販売費及び一般管理費が増加し営業利益は減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,236百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益368百万円(前年同期比20.4%減)、経常利益373百万円(前年同期比21.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益206百万円(前年同期比66.9%減)となりました。

セグメント別の状況は、以下の通りであります。

<公共サービス事業>

公共サービス事業におきましては、公営競技を中心とした施設の機器設置・保守・運営に関する事業及びファシリティに関する事業を行っております。第1四半期連結累計期間において、当セグメントにおけるグループ内企業再編として、オー・ティー・エス技術サービス株式会社とサテライト一宮株式会社を2023年10月1日に合併し、OTS株式会社に社名変更いたしました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は2,032百万円(前年同期比14.8%増)、セグメント利益は355百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

<環境事業>

環境事業におきましては、排水浄化処理及び水循環に関する事業及び再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務並びに自社設備による売電に関わる事業を展開しております。当第2四半期連結累計期間において排水浄化処理及び水循環に関する事業では、引き続き受注機会の拡大が図られております。一方で、再生可能エネルギー発電設備の受注工事の施工については前年同期に比較し、施工金額が減少いたしました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は364百万円(前年同期比10.7%減)、セグメント利益は25百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

<交通インフラ事業>

交通インフラ事業におきましては、高速道路を中心とした道路エンジニアリング・道路メンテナンスに関する事業を展開しております。当第2四半期連結累計期間において主要顧客である高速道路運営事業者からの電気通信設備・構造物の点検・保守、高速道路の維持管理等の業務が堅調でありました。また、前連結会計年度においてグループ化した株式会社興電社、及び株式会社テッククリエイトが業績に寄与いたしました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は1,676百万円(前年同期比22.8%増)、セグメント利益は408百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産売買、賃貸等不動産に関わる事業を展開しております。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は162百万円(前年同期比47.6%増)、セグメント利益は3百万円(前年同期比28.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,089百万円増加して、9,463百万円となりました。

流動資産残高は、前連結会計年度末に比べて840百万円増加し、4,665百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が481百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が432百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて248百万円増加し、4,796百万円となりました。この主な要因は、減価却累計額が60百万円増加した一方で、建物及び構築物が182百万円、土地が109百万円増加したこと等により有形固定資産が214百万円増加したことによるものであります。

繰延資産の残高は、前連結会計年度末に比べて0百万円減少し、1百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて487百万円増加し、2,865百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が218百万円、短期借入金が410百万円増加した一方、電子記録債務が49百万円、未払法人税等が73百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて33百万円増加し、1,490百万円となりました。この主な要因は長期借入金が69百万円増加した一方、社債が28百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて568百万円増加し、5,107百万円となりました。この主な要因は、新株予約権行使により資本金222百万円、資本剰余金222百万円それぞれ増加したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益206百万円計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末より0.1ポイント上昇し、53.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,355百万円(前連結会計年度末は1,854百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は160百万円(前年同期は221百万円の獲得)となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益373百万円に減価償却費153百万円、仕入債務の増加額110百万円、賞与引当金の増加額109百万円を加算し、売上債権の増加額356百万円、法人税等の支払額243百万円を減算した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は416百万円(前年同期は560百万円の獲得)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出366百万円、無形固定資産の取得による支出24百万円により減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は757百万円(前年同期は466百万円の獲得)となりました。

これは、主に株式の発行による収入430百万円、短期借入金の純増加額405百万円、長期借入れによる収入420百万円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出372百万円、社債の償還による支出33百万円、配当金の支払額70百万円によりそれぞれ減少したことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,070,500	2,552,233
電子記録債権	101,395	85,331
受取手形、売掛金及び契約資産	1,054,946	1,487,561
有価証券	—	29,991
棚卸資産	389,526	424,029
その他	208,089	86,283
流動資産合計	3,824,457	4,665,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,065,180	2,247,425
機械装置及び運搬具	1,790,986	1,803,345
工具、器具及び備品	877,807	912,963
土地	1,684,288	1,793,735
その他	323,432	259,215
減価償却累計額	△2,984,147	△3,044,649
有形固定資産合計	3,757,547	3,972,036
無形固定資産		
のれん	63,823	100,003
その他	125,803	113,079
無形固定資産合計	189,626	213,082
投資その他の資産	600,641	611,587
固定資産合計	4,547,816	4,796,706
繰延資産	1,470	1,227
資産合計	8,373,744	9,463,362

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	300,800	519,729
電子記録債務	56,826	7,034
短期借入金	310,000	720,000
1年内償還予定の社債	62,000	57,000
1年内返済予定の長期借入金	481,775	509,433
賞与引当金	20,901	131,016
未払法人税等	257,123	183,672
その他	889,120	737,749
流動負債合計	2,378,548	2,865,635
固定負債		
社債	115,000	86,500
長期借入金	1,080,867	1,150,243
退職給付に係る負債	57,804	54,682
資産除去債務	98,152	98,500
その他	104,990	100,613
固定負債合計	1,456,813	1,490,539
負債合計	3,835,361	4,356,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,266	984,597
資本剰余金	673,377	895,708
利益剰余金	3,002,038	3,138,567
株主資本合計	4,437,682	5,018,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,198	21,642
その他の包括利益累計額合計	19,198	21,642
新株予約権	1,361	—
非支配株主持分	80,140	66,672
純資産合計	4,538,382	5,107,188
負債純資産合計	8,373,744	9,463,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,655,226	4,236,528
売上原価	2,495,899	2,981,290
売上総利益	1,159,327	1,255,238
販売費及び一般管理費	696,579	887,034
営業利益	462,747	368,203
営業外収益		
固定資産売却益	4,810	7,414
補助金収入	3,383	4,194
債務勘定整理益	—	8,563
保険解約返戻金	10,390	—
その他	5,342	8,135
営業外収益合計	23,927	28,308
営業外費用		
支払利息	4,148	5,333
匿名組合投資損失	3,809	176
株式交付費	—	12,825
その他	4,048	4,500
営業外費用合計	12,005	22,835
経常利益	474,668	373,676
特別利益		
固定資産売却益	428,136	—
負ののれん発生益	69,740	—
特別利益合計	497,877	—
特別損失		
減損損失	22,896	—
固定資産処分損	34,013	—
特別損失合計	56,910	—
税金等調整前四半期純利益	915,636	373,676
法人税等	285,377	160,478
四半期純利益	630,258	213,198
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,757	6,531
親会社株主に帰属する四半期純利益	624,501	206,666

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	630,258	213,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,743	2,444
その他の包括利益合計	18,743	2,444
四半期包括利益	649,001	215,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	643,244	209,111
非支配株主に係る四半期包括利益	5,757	6,531

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	915,636	373,676
減価償却費	160,423	153,538
減損損失	22,896	—
負ののれん発生益	△69,740	—
固定資産処分損益(△は益)	34,013	—
固定資産売却損益(△は益)	△432,947	△7,414
受取利息及び受取配当金	△154	△273
支払利息	4,148	5,333
株式交付費	—	12,825
売上債権の増減額(△は増加)	5,271	△356,699
棚卸資産の増減額(△は増加)	△153,771	163
リース投資資産の増減額(△は増加)	7,210	△454
仕入債務の増減額(△は減少)	19,430	110,237
未成工事受入金の増減額(△は減少)	15,436	36,558
賞与引当金の増減額(△は減少)	97,740	109,147
未払金の増減額(△は減少)	△142,506	△119,708
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,502	△33,594
その他	△85,811	125,586
小計	410,778	408,922
利息及び配当金の受取額	154	273
利息の支払額	△3,974	△5,215
法人税等の支払額	△185,052	△243,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,904	160,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,600	△29,601
定期預金の払戻による収入	42,401	59,101
有形固定資産の取得による支出	△305,692	△366,183
有形固定資産の売却による収入	667,777	15,922
無形固定資産の取得による支出	△2,766	△24,985
投資有価証券の取得による支出	△23,289	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△71,767
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	293,104	—
その他	△69,952	841
投資活動によるキャッシュ・フロー	560,983	△416,673

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	490,000	405,000
長期借入れによる収入	415,000	420,016
長期借入金の返済による支出	△292,537	△372,982
社債の償還による支出	△28,500	△33,500
株式の発行による収入	1,200	430,475
配当金の支払額	△107,752	△70,165
非支配株主への配当金の支払額	—	△20,000
リース債務の返済による支出	△10,965	△1,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	466,444	757,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,249,321	501,231
現金及び現金同等物の期首残高	1,095,525	1,854,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,344,846	2,355,784

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において行われた新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ222,330千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金984,597千円、資本剰余金895,708千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	公共サー ビス事業	環境事業	交通イン フラ事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,770,884	408,345	1,365,881	3,545,111	110,114	—	3,655,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,807	1,901	1,553	21,262	9,085	△30,348	—
計	1,788,692	410,246	1,367,435	3,566,373	119,200	△30,348	3,655,226
セグメント利益	374,030	25,808	388,935	788,774	5,465	△331,492	462,747

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

2. セグメント利益の調整額△331,492千円にはセグメント間取引消去等△1,200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△332,692千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境事業」セグメントにおいて製造設備の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において22,896千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「公共サービス事業」セグメントにおいてオー・ティー・エス技術サービス株式会社及び葵電気工業株式会社の株式を取得し連結子会社化したことにより、負ののれん発生益を69,740千円計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	公共サービ ス事業	環境事業	交通インフ ラ事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,032,409	364,782	1,676,763	4,073,955	162,572	—	4,236,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,434	37	7,168	23,640	8,245	△31,885	—
計	2,048,844	364,819	1,683,932	4,097,595	170,818	△31,885	4,236,528
セグメント利益	355,781	25,562	408,290	789,635	3,898	△425,330	368,203

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

2. セグメント利益の調整額△425,330千円にはセグメント間取引消去等999千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△426,329千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「公共サービス事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に株式会社エコベンの株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴いのれんが49,706千円発生し増加しております。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	公共サービ ス事業	環境事業	交通インフ ラ事業	計		
一時点で移転される財	1,684,611	208,823	1,292,968	3,186,403	91,115	3,277,518
一定の期間にわたり移転さ れる財	78,251	199,521	72,913	350,686	4,978	355,664
顧客との契約から生じる収 益	1,762,862	408,345	1,365,881	3,537,089	96,093	3,633,183
その他の収益	8,022	—	—	8,022	14,021	22,043
外部顧客への売上高	1,770,884	408,345	1,365,881	3,545,111	110,114	3,655,226

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	公共サービス事業	環境事業	交通インフラ事業	計		
一時点で移転される財	1,616,960	304,995	1,475,348	3,397,305	145,047	3,542,353
一定の期間にわたり移転される財	413,990	59,786	198,517	672,294	13,975	686,269
顧客との契約から生じる収益	2,030,951	364,782	1,673,866	4,069,600	159,022	4,228,623
その他の収益	1,458	—	2,897	4,355	3,549	7,905
外部顧客への売上高	2,032,409	364,782	1,676,763	4,073,955	162,572	4,236,528

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	231円68銭	75円44銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	624,501	206,666
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	624,501	206,666
普通株式の期中平均株式数(株)	2,695,479	2,739,451
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	228円30銭	73円95銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	39,986	55,329
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—